

# 4

## 使用上の注意の改訂について (その275)

平成28年5月18日及び5月31日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意について、改訂内容、主な該当販売名等をお知らせします。

### 1 他に分類されない代謝性医薬品

- ①アレンドロン酸ナトリウム水和物
- ②イバンドロン酸ナトリウム水和物
- ③エチドロン酸二ナトリウム
- ④ゾレドロン酸水和物
- ⑤パミドロン酸二ナトリウム水和物
- ⑥ミノドロン酸水和物
- ⑦リセドロン酸ナトリウム水和物

[販 売 名] ①テイロック注射液5mg, 同注射液10mg, ボナロン錠5mg, 同錠35mg, 同経口ゼリー 35mg,  
同点滴静注バッグ900 $\mu$ g (帝人ファーマ), フォサマック錠5, 同錠35mg (MSD) 他  
②ポンビバ静注1mgシリンジ, 同錠100mg (中外製薬)  
③ダイドロネル錠200 (大日本住友製薬)  
④ゾメタ点滴静注4mg/ 5mL, 同点滴静注4mg/100mL (ノバルティスファーマ) 他  
⑤アレディア点滴静注用15mg, 同点滴静注用30mg (ノバルティスファーマ) 他  
⑥ボノテオ錠1mg, 同錠50mg (アステラス製薬), リカルポン錠1mg, 同錠50mg (小野  
薬品工業)  
⑦アクトネル錠2.5mg, 同錠17.5mg, 同錠75mg (EAファーマ), ベネット錠2.5mg, 同錠  
17.5mg, 同錠75mg (武田薬品工業) 他

[重要な基本的注意] ビスホスホネート系薬剤を使用している患者において、外耳道骨壊死が発現したとの報告  
がある。これらの報告では、耳の感染や外傷に関連して発現した症例も認められることから、  
外耳炎、耳漏、耳痛等の症状が続く場合には、耳鼻咽喉科を受診するよう指導すること。

[副作用  
(重大な副作用)] 外耳道骨壊死：外耳道骨壊死があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認  
められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。